

ノリ糸状体情報 第2号

令和2年8月26日
福岡県水産海洋技術センター有明海研究所

1. 糸状体の生育状況

8月上旬からこれまでの検鏡結果では、胞子のうの形成割合はほぼ平年並みです。

2. 病害・障害

現在までのところ、病害は確認されていませんが、一部で生理障害が認められています。生理障害の主な原因は、照度不足、高水温などが考えられますので、培養条件の再確認を行ってください。

3. 今後の管理(熟度調整開始まで)

今後1ヶ月の気温は平年より高めと予報が出ていますが、朝夕は徐々に涼しくなっています。

日中の水温上昇及び朝方の水温低下に注意し、気象情報をよく見て、培養場の水温管理を徹底してください。

水 温：日中は28℃を超えないよう、朝方は25℃を下回らないように、25～28℃を保ってください。

照 度：照度不足は生理障害の原因となります。これまでの照度を維持してください。平面培養は800ルクス、垂下培養は1,500ルクスを目安にしてください。

比 重：現場比重で21～22を目安にしてください。差し水は定期的に行い、蒸発して減った分だけ水道水を入れてください。

水 換 え：熟度調整開始まで水換えは行わないでください。

栄 養 剤：最後の水換え時に規定量しか入れていない水槽は、規定量を追加して、合計で2倍量にしてください。